

みどりと清流

https://midoritoseiryu.skr.jp

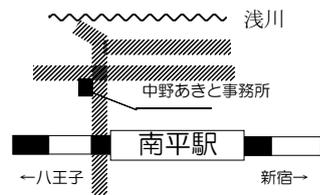
日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正



中野あきと



法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



QRコード、アドレスをご利用になると、創刊号より検索できます

「不登校」シンポジウムに100人の参加

「不登校」は心の傷をおっている状態 子どもに原因はない、親のせいでもない

4月21日、清水とし子都議会議員事務所主催で開催された「『不登校』を考えるシンポジウム」には、保護者、フリースクール関係者をはじめ100人を超える様々な市民が参加。不登校の子どもたちへの支援、保護者としての悩みや思い、学校や教育のあり方について語り合いました。

また、シンポジウム終了後に行なった懇談の集いにも保護者・支援者中心に30人が参加、相談ごとや悩みを交流する機会となり、「悩んだけど参加して本当によかった」「こういうつながれる機会を引き続きつづけてほしい」などの感想が多数寄せられました。

今月号と来月号の2回にわたって、パネラーの発言、会場からの発言を紹介します。

■パネラー（保護者）

◇ 子どもが不登校になったのは友達関係のトラブルが大きなきっかけ。当初、無理にでも行かせようとした。世間体とか、親の責任とか、ここで何か嫌なことがあつて逃げてしまつたこの先引き込み

りになってしまふんじゃないかと立って。行けないという朝はバトルにもなった。

◇ 私は、子どもたちがもう悲鳴をあげて、学校おかしいよ、大人たちおかしいんじゃないかってことをね、言っていると思う。やっぱり管理がきつすぎる。不登校イコール行かなきゃいけないのに行かない子どもではなくて、社会のおかしさ、学校のおかしさに気づいている、これからの先駆者っていうふうなぜひ見方を変えてほしい。

■会場発言（保護者）

◇ 学校のあり方に不満だったり、おかしいって思っている子どもがいる。私の子どもも多分その一人。なので不登校の子どもだけの問題じゃないと思った。うちの子は不登校にはならなかったものの、学校のうるさい状況が嫌だ、学校行くと疲れると言っていた。

◇ 不登校っていうと、フリースクールに通っている子どもに目がいくけど、フリースクールに通っていない子どもたちのことも考えていく必要があると思う。

■パネラー（フリースクール関係者）

◇ 不登校というと、すぐくネガティブで、学校に行かなきゃいけないのに行かせない、行かない子どもって、後ろ向きなイメージで捉えられていると思う。

でも、世界を見渡すと学校行かない場合、ホームスクーリングがある。それも義務教育と同じように認められている。そういう国とか州がある。

短信

「不登校」問題のシンポジウムで配られた資料の中に、大阪のある市立小学校の校長先生の市長に宛てた提言があった。一読すると今の学校現場が、在職中の職場の実態を映し出しているようで驚いた▼「過度な競争を強いて、打ち勝った者だけが『がんばった人間』として評価される。数値化して評価することで人と人との信頼や信用をズタズタにし、温かいつながりを奪っただけではないか」と提言は指摘。学校はグローバル経済を支える人材という「商品」をつくり出す工場と化している…。と告発している▼かつて職場の同僚Sさんが欠勤するようになった。Sさんは出勤途上次第に苦しくなり、ハンドルの持つ手に震えがきて家に引き返すことがあるのだと言う▼60年の安保闘争を契機に春闘が本格化し、革新自治体が全国に広がった。しかし70年代になると、危機感を持った政治勢力や財界の巻き返し攻撃によって、労働運動は後退を余儀なくされた▼私たちの企業も例外ではなく、組合執行部は会社の息の掛つた連中に取って代わられ、職場は目標達成のための激しい競争が押し付けられ空気が一変した▼定年退職が近づく頃、「羨ましい」と言う声を幾つも掛けられた。大人たちは声も上げられず、じっと辛抱するだけだった▼「イヤなものはいや」と、子どもたちは正直だ。膨らみ続ける「不登校」は、歪んだ学校教育を告発する彼らの意思表示に思えた。(K)



▲参加されたパネラー

▼司会の清水とし子都議



学校給食の無償化を早く

「無償化を求める市民の会」が活動継続

4月28日、日野市の学校給食の無償化を求める「市民の会」は集会を開き、これからの活動について話し合いました。

これまで「市民の会」は要望の署名を3609筆集め日野市に提出、3回の日野市との折衝を行ってきました。日野市は新年度予算は物価高騰、食料費高騰による給食費の改定を行い、令和6年度については、改定による差額を市が負担するが無償化は行わないと回答しました。これを受けて「市民の会」は3月市議会に請願を提出、審査の

結果継続審議となつていきます。

今年度23区は全て無償、多摩地域では30の市町村のうち、14市町村で公立小中学校の無償化に踏み出しています。

日野市は、東京都の補助を活用してもハードルが高い。国や都の広域的な対応が必要と報道の取材に回答しています。

「市民の会」では無償化実現に向け、日野市への要望を引き続き行うとともに、更なる要望署名の積み上げを行うなど、活動を継続します。

「無償化を求める市民の会」の集会



■会場発言(保護者)

◇ 「学校に行け！」ってまづ言いますよね。夫も学校に行きなさいよ、なんて言いながら仕事に行っちゃうので、残された私としては、何とか行かせなきゃいけないと、じゃあ明日はいける？ 明後日は？ じゃあ来週から行こうかって。なんて。厳しくあたって取っ組み合いの喧嘩もした。

も相談した。勧められれば、病院で発達の検査もしたし、心のクリニックにも通った。でもそれって子どもの気持ちも無視して「常識」に縛られた親の考えだった。表向きの不登校の理由付けをしたいだけだ。そのことに気がついた時、考えが変わった。この先ゆとり笑顔で過ごせることが一番なんじゃないかって。学校に行かない選択をしている自分の子どもを誇りに思えるようになった。

(次号につづく)

都営平山アパート 建替え工事完成間近



平山4丁目の日野都営平山アパート7・8号棟の建替え工事は、今年8月に完成する予定です。当初は、2022年3月ごろの完成予定でした。しかし、隣に「保育園」があり、解体工事による騒音、振動、粉塵などから子どもたちの安全を確保するため工事が遅れていました。

旧7・8号棟は計60戸でしたが、新しい建物は10階建て170戸。屋上に太陽光パネルを設置し、隣接して集会場も用意されています。

都政を「希望」 に変えよう

こんにちは
都議会議員
清水とし子です



日本共産党都議団は、「都知事提案の予算をこんな風に変えたら、都民の切実な願いがこれだけ実現できます」という具体的な提案、予算組み替え提案を行っています。

今回の予算組み替え提案は、75歳以上で低所得の高齢者の医療費無料化、シルバーパスを無料にし、モノレールにも使えるようにする、多摩地域の保健所増設のための検討を始める、有機フッ素化合物(PFOS)の血中濃度検査を実施する、小中学校の学校給食費の無償化や補聴器補助制度を全額都の負担で行う、都営住宅を5000戸建設し、若者には月額2万円の家賃助成を行うなど、121項目(約3224億円)を増額するというものです。

これは、東京都の予算8兆5千億円(一般会計予算)のわずか3.8%に過ぎませんがそれでも、都政に希望が持てるように感じます。もし、都の予算を暮らし、福祉中心に使ったら、いったいどれだけのことができるでしょうか。

かつて革新都政時代が高齢者医療費無料化を実施したことで、国が高齢者医療費無料化制度を作ったように、都政が変われば、日本の政治も大きく変えることができます。7月7日には都知事選挙が行われます。市民と野党の共同で知事を変えましょう。

郵便ポストが欲しい!

「洋服の青山」の近くにあった郵便ポストがセブンイレブン移転の折に撤去されたままで、付近の住民は遠くの南平郵便局に行くか南平台のポストまで坂を登らねばならず、足腰の弱った高齢者には大変な負担となっています。そのためバスで高幡不動駅前のポストに行かざるを得ない人もいます。コロナ禍で外出もままならない時手紙や葉書は人との交流の大事なよすがであることを実感しました。郵便ポストは生活必需品です。この地域にぜひポストの設置を望みます。

(南平2丁目 Y)



「あなた、誰?」

川面に映る自分の姿に自分で問いかけているように見えるシラサギの姿です。シラサギたちにはどんなふうに見える姿が見えるのでしょうか? 「聞いてみたいモノ」です。

浅川で 南平 S



[無料法律相談日] 2024年6月

(お申込み) ☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所
■ 6日(木) 午後6時~8時
わたなべ・清水事務所
■ 13日(木) 午後1時~3時
市役所6階共産党控室

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円